



# 八峰町

# 議会だより



## みんなで美味しい鍋を作ろう！（八森小）

- 9月定例会ダイジェスト……………2ページ
- 平成26年度決算について……………5ページ
- 決算に対する意見について……………8ページ
  - 一般質問……………9ページ
  - 傍聴して感じたこと……………17ページ
  - 議会の主な動き……………18ページ





# 9月定例会 ダイジェスト

## 安全保障関連2法案の廃案を 求めるための陳情を不採択

●八峰町と秋田県との間の行政不服審査会の事務の委託について  
行政不服審査法の改正に伴い行政不服審査会の権限に属する事務を秋田県に委託するため、規約を議決しました。

●八峰町過疎地域自立促進計画の一部変更について  
同計画に新たに事業を追加するため、計画の一部を変更しました。

●町道路線の変更について  
八森地区観海浄水場が供用開始されたため、町道八小線を延長し、終点及び幅員を変更しました。

●土地の取得について  
町道松原1号線改良拡幅及び小学校用駐車場建設用地として土地を取得するため議決しました。

主な歳出・・・患者輸送バスの冬タイヤ購入費の追加

### 専決処分

●平成27年度八峰町一般会計補正予算(第3号)  
1964万4千円を追加補正。  
主な歳出・・・7月24日から25日にかけての豪雨による農林業施設と公共土木施設の災害復旧に係る経費。

●八峰町個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について  
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の公布により、通知カード及び個人番号カードの再交付に係る手数料等を定めるために条例改正されました。

### 一般議案

●八峰町議会の議決に付すべき事件に関する条例制定について  
定住自立圏形成協定の締結等について、議会の議決に付すべき事件として規定するため条例制定されました。

●平成27年度八峰町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)  
60万5千円を追加補正  
主な歳出・・・一般会計への繰出金の追加

●平成27年度八峰町営簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)  
509万3千円を追加補正  
主な歳出・・・土地貸付収入や立木売却収入に伴う関係地区交付金の追加

●平成27年度八峰町営漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)  
491万5千円を追加補正  
主な歳出・・・一般会計への繰出金と岩館地区施設管理費の追加

●平成27年度八峰町合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)  
109万1千円を追加補正  
主な歳出・・・一般会計への繰出金の追加

●平成27年度八峰町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)  
963万1千円を追加補正  
主な歳出・・・一般会計への追加

●平成27年度八峰町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)  
1245万8千円を追加補正  
主な歳出・・・退職被保険者等療養給付費及び高額療養費や後期高齢者支援金などの追加

### 補正予算

●平成27年度八峰町一般会計補正予算(第4号)  
4億2356万2千円を追加補正  
主な歳出・・・八峰町誕生10周年記念特別番組制作委託料、定住推進用空き家改修工事費、個人番号制度に伴うネットワーク機器整備関係経費、振興作物生産取組支援事業費補助金、県単局所防犯事業費、町道維持管理経費、農地農業用施設及び林業施設の災害復旧事業費、公共土木施設災害復旧事業費、財政調整基金積立金の追加

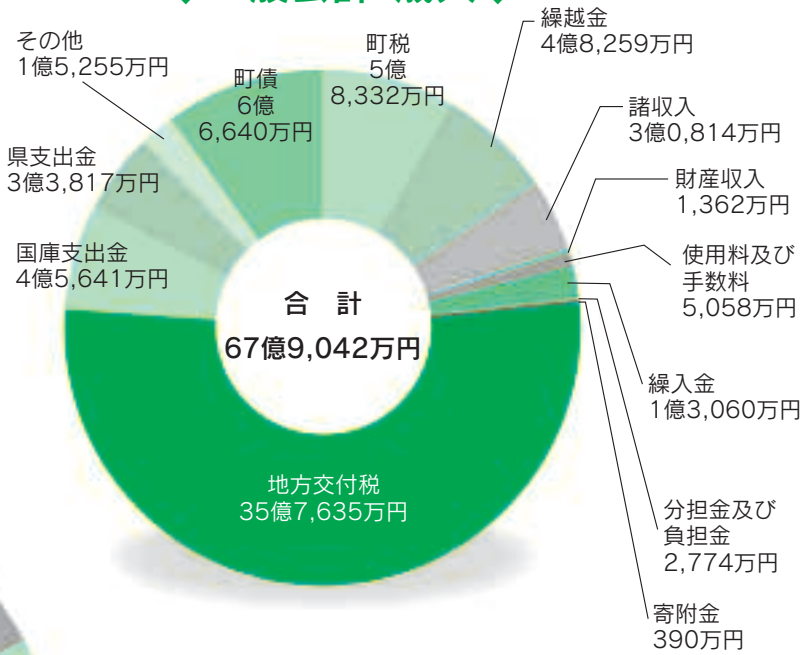
●平成27年度八峰町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)  
1245万8千円を追加補正  
主な歳出・・・退職被保険者等療養給付費及び高額療養費や後期高齢者支援金などの追加

●平成27年度八峰町一般会計補正予算(第4号)  
4億2356万2千円を追加補正  
主な歳出・・・八峰町誕生10周年記念特別番組制作委託料、定住推進用空き家改修工事費、個人番号制度に伴うネットワーク機器整備関係経費、振興作物生産取組支援事業費補助金、県単局所防犯事業費、町道維持管理経費、農地農業用施設及び林業施設の災害復旧事業費、公共土木施設災害復旧事業費、財政調整基金積立金の追加

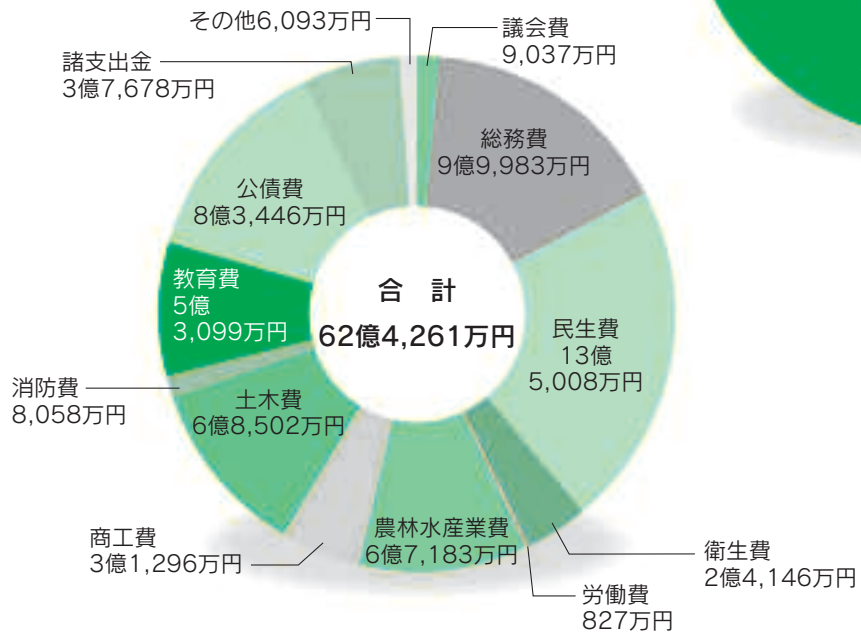


# 平成26年度一般会計決算のなかみ

## ◆一般会計 歳入◆



## ◆一般会計 歳出◆



※端数処理の関係で各項目の決算額と合計額が一致しません

## ◆各特別会計決算 歳出◆

会計名	決算額
国民健康保険事業勘定特別会計	11億770万円
介護保険事業勘定特別会計	11億8,473万円
後期高齢者医療特別会計	8,205万円
沢目財産区特別会計	782万円
簡易水道事業特別会計	9億917万円
公共下水道事業特別会計	3億4,749万円
農業集落排水事業特別会計	8,428万円
漁業集落排水事業特別会計	6,452万円
合併処理浄化槽事業特別会計	422万円
診療所特別会計	6,778万円

## ◆各特別会計決算 歳入◆

会計名	決算額
国民健康保険事業勘定特別会計	11億4,319万円
介護保険事業勘定特別会計	12億3,422万円
後期高齢者医療特別会計	8,224万円
沢目財産区特別会計	1,568万円
簡易水道事業特別会計	9億3,233万円
公共下水道事業特別会計	3億6,276万円
農業集落排水事業特別会計	8,549万円
漁業集落排水事業特別会計	6,822万円
合併処理浄化槽事業特別会計	640万円
診療所特別会計	7,325万円

なお、決算に関する議案はすべて、全会一致で認定しました。

## 陳情

### 採択された陳情

●外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情  
 (提出者 福岡県行橋市 小坪慎也)

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、法務大臣、厚生労働大臣、内閣官房長官に意見書を提出

### 不採択になった陳情

●所得税法第56条の廃止を求める意見書の提出についての陳情  
 (提出者 秋田県商工団体連合会 婦人部協議会会長 小玉智子)

不採択の理由・・・所得税法第56条は「事業主の配偶者とその親族が事業に従事した時の対価の支払いは必要経費に算入しない」とあり、白色申告と青色

申告の仕方では納税者を差別するものであるとし、その解消を求めるものであるが、最近の税務署の指導によると白色申告の際も帳簿の記帳を求めており、青色申告をすることによりその問題が解決されるものと判断しました。

●マイナンバー制度の平成28年1月実施の延期を求める意見書の提出についての陳情  
 (提出者 秋田県商工団体連合会 会長 小玉正憲)

不採択の理由・・・マイナンバー制度については、国会決議により平成28年1月の運用開始が決まっており、当町でも同制度の運用開始に向け、今9月議会で関係条例の一部を改正しているため。

●安全保障関連2法案(国際平和支援法案、平和安全法制整備法案)の廃案を求める意見書採択に関する陳情書



(提出者 平和で豊かな能代をつくる市民懇話会 代表世話人 吉田瑞穂)

不採択の理由・・・我が国は憲法第9条により平和国家としての礎を築き、経済発展をとげ豊かな国として進展してきたが、国民の生命財産を守るのは国家の責務であり、激変する世界情勢を考えると、他の国からの脅威を取り除くための手立では必要と判断しました。

## 賛否が分かれた議案・陳情の採択結果 ○：賛成 ●：反対

賛否が分かれた議案・陳情を掲載しています。その他の議案はすべて全会一致で可決されました。議長は採決には加わりません。

	鈴木一彦	笠原吉範	水木憲保	須藤正人	藤山良悦	柴田正高	皆川鉄也	綿津宣英	菊地 薫	山本偉人	門脇直樹	芦崎達英	議決結果
安全保障関連2法案(国際平和支援法案、平和安全法制整備法案)の廃案を求める意見書採択に関する陳情書	●	●	●	○	欠	●	●	●	●	●	●	●	不採択



決算特別委員会での  
主な質疑

総務民生常任委員会

**質問** 農業所得等が減少したのに、町税の収納額の大幅な減少がない要因は。

**回答** 八森地区は納税組合組織が充実している要因が大きく、峰浜地区の秋一括納付が減少し、口座振替が増えてきているのが要因。

**質問** 自治会費を納めていないなどの理由で、自治会内の世帯に広報等を配布していない自治会もあるようだがどうか。

**回答** 自治会費の納付に関係なく1世帯当たり1500円の助成をしているので、配布されない世帯がないよう行政協力員会議でお願いしたい。

**質問** 高齢化と投票所の減少が投票率の低下の一

因として考えられるが投票所を増やせないか。

**回答** 高齢者の方は近所誘い合せて主に期日前投票においていただいているようである。期日前投票所を増やすことで利便性を図ることができるが人員確保や費用面から難しい。現状のまま実施したい。

**質問** 肝炎患者は多いのか。また増えているのか。

**回答** 医師からは多いと言われており、現在は重症化防止対策中である。潜在患者発見が必要。峰浜地区が多いと言われているが正確に把握できない。

**質問** 若年者の自殺が多い。当町の状況は。

**回答** 今年は全県的に若年者の自殺が多いが当町では20代〜30代の自殺者は合併後いない。若年者の自殺予防は心の健康事業として小中学校で実施している。

**質問** 各種検診の受診率が伸びていないが対策は。

**回答** ガン検診料のフンコイン、託児ヘルパー派遣、送迎による受診率の伸びは確認できないが、コールリコール事業は乳がん検診などで効果があるため、この事業を加えて継続実施したい。

**質問** 国保特別会計における医療給付状況は。

**回答** 月平均が過去最高の給付となっており大変厳しい状況である。高額療養費が影響している。

**質問** 介護保険特別会計における給付率の伸びはどうか。また利用率はどのくらいか。

**回答** 要介護認定者は21%程度、そのうち約8割の方が利用している状況である。

**質問** 財源が減少している中、今後大きな事業を考えているか。例えば峰

浜地区の統合子ども園もある。その他にも予定している事業は。

**回答** 新規事業にも注目しているが、それより統合により遊休施設となる小中学校や子ども園の利

活用が課題である。財政的には、使わない、使えない公共施設は解体を、活用する施設は減築して使用することも一つの方法である。



総務民生常任委員会分科会の様子



教育産業建設分科会の様子

教育産業建設常任委員会

**質問** 来年五能線開通80周年となるがイベントは考えているのか。せっかくのチャンスであり、町独自のイベントやキャンペーンを行うべき。

**回答** どのような企画が

可能か検討する。

**質問** 青年就農給付金の期間、給付額はどの程度か。

**回答** 45歳未満を対象として給付期間は最長5年間で、年間1人150万円の補助を受けられる。

夫婦の場合、妻が年間75万となる。

**質問** 生薬栽培において、今後拡大していく予定か。

**回答** カミツレについては、今年度は52kg分を出荷したが来年度以降は年間30kgくらいで十分のことで、今のところ拡大の予定はないと考える。キキョウ、セネガ等は要望量が多く栽培圃場として少なくとも5、6haは必要になると考える。しかし、収穫用や皮むき用の機械を確保するのが課題である。

**質問** 電気柵の死亡事故を受けて、当町の電気柵は大丈夫なのか。

**回答** 八森地区で1か所、峰浜地区で2か所が今のところ正常に稼働している。地域での維持管理の不徹底により使用されていない電気柵も見受けられる。町の補助で農家が設置する簡易電気柵

も年々増えているが、死亡事故のあった電気柵とは違いソーラー式のバッテリーとなっており安全である。

**質問** 認定子ども園になることへの対応は。

**回答** 再来年の認定に向けて研修等で準備している。

**質問** 以前、保育士の質が落ちていたため、研修計画を立てるとの話が合ったが今の状況は。

**回答** 正職員、臨時職員ともに外部研修に参加させたり、教育長が正職員、臨時職員別々に研修を行ったりしている。また臨時職員については1年間の勤務実績をみて更新するか決めると伝えて、保育の質を確保するようにしている。

**質問** 塙川小学校の松くい虫防除の状況は。

**回答** 薬剤樹幹注入したものは全て大丈夫であ

る。

**質問** 公民館図書を選定はどうやっているのか。他県の図書館では、一山いくらで購入した図書が利用価値のないものが多く問題になっている。

**回答** 司書が話題性のあるものを中心に選定している。町民からのリクエストにも応じている。選定した書籍リストは教育長まで回覧してチェックし、広報にも掲載して広く町民に紹介している。

**質問** あきた白神体験センターのPRはどのようになっているか。SNSでの発信も必要では。

**回答** 学校には利用案内を文書で発送している。一般向けには東北各地のタウン情報誌への広告など、各雑誌への広告やインターネットなどでPRしている。



## 住宅貸付条例制定について



柴田 正高 議員

**質問** 定住者への住宅貸付やお試し暮らし住宅の貸付については、それぞれの目的にあった条例を制定して貸付を行うべきでは。

**答弁** 移住定住を促進するため現在6戸の空き家を借り受けて改修工事を進めている。(うち1戸はお試し暮らし住宅) 今年の3月議会で定住促進空き家活用住宅の管理運営に関する条例及び関係規則も制定して事業を推進している。お試し暮らし住宅につ

いては、新たな条例を制定するのではなく、他自治体の例を参考に要綱を定めて適切な管理運営と利活用に努めていく。

**再質問** 条例の文面からだけでは読み取れない事もあることからHPを見た方は二の足を踏むのでは。お試し暮らし住宅にも条例や規則を定めて貸付してどうか。町営住宅の入居者と不公平が生じないよう規則等の整備を。

**答弁** 目的が違うことから利用条件もある程度違うのは止むを得ない。定住・移住の方から見ると条件の中には違和感もあるだろうが、そういう点については要綱等で見直しをして受け入れ易い状況で進めていきたい。

**質問** 旧役場跡地や目黒裏の町有地を分譲販売しては。

**答弁** 需要や価格の問題、その土地の状況・条件などの様々な要素を総合的に検討した結果、現時点では宅地分譲することとは考えていない。旧役場跡地については、現状のような利用をしながら、住宅地利用を条件に開発業者に一括売却する方向を目指し、他の利活用方法も模索していきたい。

**再質問** 町営住宅を退去した方を一人でも多く町内に留め置くための政策として宅地分譲を検討されては。沢目駅裏の町有地は旧峰浜村時代に分譲を目的に取得したもので、立地的にもよいのでは。



旧峰浜庁舎跡地

## 平成26年度決算特別委員会付帯意見

平成26年一般会計及び特別会計の歳入歳出決算の審査では、議員から様々な意見や要望が提案され、9月18日議会終了後、町長に付帯意見を提出しました。

その付帯意見をご紹介します。

なお、町からの回答については、次号の議会だよりに掲載いたします。

●人口減が予想される中で持続可能な行財政の運営を

合併から10年が過ぎ、平成28年度からは普通交付税合併算定替えの激減緩和措置が取られ、段階的に交付税が縮減される。少子高齢化が進むなか、平成27年度に実施する国勢調査の結果により、人口減による交付税の縮減が予想される、持続可能な行財政の運営に努めること。

●老朽化が進む遊休施設の解体・処分を

町遊休施設の中で、老朽化が進む施設につ

いては、早期の解体または処分(一部売却)をすること。

●町営診療所の民間委託の検討を

町営診療所については、経営の収支バランスを考慮すると、町の財政負担が大きく、住民ニーズも考慮しながらも民間業務委託を検討すること。

●雇用創出活動支援事業補助金受給企業の追跡調査を

雇用創出活動支援事業補助金を支出した企業の実績と成果の追跡調査をすべきである。

●農林水産物処理加工施設の方向性の検討を

農林水産物処理加工施設への委託料が平成27年度で終了する。今後の方向性を示せ。

●首都圏特産品PRへの積極的参加と事業効果の把握を

首都圏において特産品のPR活動を積極的に行っているが、事業者の積極的な参加と事業効果の把握に努めること。

●保育士の資質向上、臨時保育士の待遇改善を

保育士の資質向上と臨時保育士の待遇改善を図ること。

●峰浜野球場のトイレの新設を

峰浜野球場が改修され利用頻度も増えてきていることから、トイレの新設を。

## 住宅地分譲について

**答弁** 当時と状況が変わってきている。町がお金を掛けて分譲するのがいいのか、民間の力を借りて開発する方に支援する方法もあるのでは。需要があるのであれば、土地情報を提供することも考えていきたい。





### 有事における消防団員の安全管理は

**質問** 地域防災に重要な組織である消防団は局地的に大雨を降らすゲリラ豪雨などの気象災害を初め、さらに、大規模地震や津波の発生が危惧されることを考えると、消防団の必要性は増すばかりである反面、消防団員の確保や、消防団組織の活動計画等、多くの課題がある。

**質問** 地域防災に重要な組織である消防団は局地的に大雨を降らすゲリラ豪雨などの気象災害を初め、さらに、大規模地震や津波の発生が危惧されることを考えると、消防団の必要性は増すばかりである反面、消防団員の確保や、消防団組織の活動計画等、多くの課題がある。

**質問** 地域防災に重要な組織である消防団は局地的に大雨を降らすゲリラ豪雨などの気象災害を初め、さらに、大規模地震や津波の発生が危惧されることを考えると、消防団の必要性は増すばかりである反面、消防団員の確保や、消防団組織の活動計画等、多くの課題がある。

**質問** 地域防災に重要な組織である消防団は局地的に大雨を降らすゲリラ豪雨などの気象災害を初め、さらに、大規模地震や津波の発生が危惧されることを考えると、消防団の必要性は増すばかりである反面、消防団員の確保や、消防団組織の活動計画等、多くの課題がある。



山本 優人 議員



行動の「消防団の安全管理マニュアル」の整備や活動の安全管理の体制は。

**質問** 移住者の受け入れに税金や職員労力がか

**質問** 移住者の受け入れに税金や職員労力がか

### 若者の町外流出防止について

**質問** 人口減少の要因のひとつは、就職や進学などにより、都会へ若者が流出してしまう事にある。帰りたいと思っ

**質問** 人口減少の要因のひとつは、就職や進学などにより、都会へ若者が流出してしまう事にある。帰りたいと思っ

**質問** 人口減少の要因のひとつは、就職や進学などにより、都会へ若者が流出してしまう事にある。帰りたいと思っ

**質問** 人口減少の要因のひとつは、就職や進学などにより、都会へ若者が流出してしまう事にある。帰りたいと思っ



笠原 吉範 議員

**質問** 人口減少の要因のひとつは、就職や進学などにより、都会へ若者が流出してしまう事にある。帰りたいと思っ

**質問** 人口減少の要因のひとつは、就職や進学などにより、都会へ若者が流出してしまう事にある。帰りたいと思っ

**質問** 人口減少の要因のひとつは、就職や進学などにより、都会へ若者が流出してしまう事にある。帰りたいと思っ



地元への理解を深める中学生職場体験 (八森中)



### 教育委員会の諸課題について



皆川 鉄也 議員

**質問** 現在本町ではいじめの話は聞こえてこないが、問題がおきてからでは手遅れである。実状はどうなっているのか。

**答弁(教育長)** 「いじめは、どの学校でも、どの学級にも、どの子どもにも起こりうる。」という危機意識をもって、サインを見逃さないよう努めている。常に学校側と情報の共有を図り、迅速かつ適切な対応を行うこととしている。

### いじめ対策の実状について

**答弁(教育長)** 小学校における英語の教科化が平成32年度には実施される予定になっている。基本的に、子供たちに日

**質問** 文部科学省の次期学習指導要領の改定案では、小学校高学年から英語を教科化し、「読む・聞く・書く・話す」を総合的に育成するとしている。グローバル化が進む中、専門の職員を採用する考えは。

### 語学指導専門職員の採用について

**再質問** 学校統合後、いじめに対するシグナルに気付かない事が心配される。

**答弁(教育長)** 学校と協議の場は常に持つようになっている。万全の対策を取っているが、十分に検討しながら進めていく。



八森小で開催された国際交流事業 (H26.6.20)

**再質問** 英会話が少しでも出来るようになれば、授業が効果的だ。専門職員の採用を。

**答弁(町長)** 英語力をつけるというのは、大事な教育のポイントである。専門教員も配置されると思うが、日常的に英語と

親しむ環境を作ることが大事である。

### 町を育てる教育のあり方について

**質問** 人口減少の原因として、大学や短大・専門学校で学び、そのまま都会に留まるものが挙げられる。一人でも多く地元に戻り自ら起業し、郷土に活力を与える起爆剤となるための教育が必要では。

**答弁(教育長)** 子どもたちが地元へ帰り、仕事につくための教育としては、ふるさと教育やキャリア教育が重要であり、地域が教育に対してどれだけ強い意識を持っているか、子どもたちに地域に対する愛着を持たせる強い気持ちがあるかを皆で考え、推進していくべきと考える。

### 工事の指名審査及び指名規定について



門脇 直樹 議員

**質問** 町発注工事において町外業者が落札・工事受注をしている。町内業者で対応できない工事は別として、指名業者を限定すべき。

また、能代市、郡3町の建設工事入札制度実施要綱を統一すべきでは。

**答弁** 町の発注方針は、町内業者で対応できない工事は別として、町内業者で対応できるものについては、優先的に町内業者を指名してきた。町内業者の担い手育成、雇用促進、建設業の活性化や

昨今の突発的な災害への迅速な対応、万全の除雪体制の確立のためにも、日ごろから地元業者の充実を図っておかなければならない認識からである。業者数に限りがあり、工事個所が多数発生した場合には対応しきれない場合もあり、その時々状況に応じて適切に対応していく。町民目線に立ち、どのような方法が最も適切であるか、熟慮、選定し、発注していく。

建設工事の入札制度実施要綱は、能代市・郡3町とも地方自治法をはじめ建設業法、秋田県建設業登録格付名簿をもとに制定しており、概略はほぼ同じ。それぞれの自治体が財政規模や地域実情に合わせて独自の条件を追加しているため、統一することはできない。

**再質問** 概略は全然違っている。統一は無理で

**質問** 有償移送サービスの実施に向けての方向性は。またタクシー撤退後の代替案、計画はあるのか。

**答弁** 社会福祉協議会やバス会社、関係自治会長と協議し、運行実地に向けて、若干ハードルが高くなったが、年度内の運行に向けて一歩ずつ課題をクリアしている。社会福祉協議会から運送計画案が示された後、内容

### 町民、高齢者の緊急時の対策と足の確保と

**答弁** 必ずしも同じもので、同じような規制をしなければならぬという考え方は今のところ持っていない。



撤退したタクシー会社

を説明する。タクシー撤退後の代替案については、タクシー会社からはタクシー待機所設置の方向で会社側と協議していく。また、福祉移送サービスを行っている民間業者が数社あり、利用目的も、通院通所、買い物、観光、外出等広く利用でき、一般のタクシー料金よりも若干安く、町内の高齢者も利用していると聞いている。予約が必要で緊急時の対応はできないようだが、介護タクシーの情報の提供にも努めていく。



### 大雨災害による河川の拡幅、改修について



水木 壽保 議員

**質問** ①7月24日、25日の大雨により埴川が氾濫し横内集落に避難指示が出された。埴川は田中地区までは河川拡幅、改修を終えているが、その先の用地買収が出来ず拡幅改修計画が立ち消えになった。再度、県に要望する予定は。

**答弁** ①当日の24時間降水量は、八森で141.5mm、最大時間降水量は36.5mmと発表された。

上流ではこれ以上の降水量があったものと予想され、一気に川に流れ落ちたものと思われる。これにより埴川は氾濫し大きな被害をもたらした。埴川の改修については田中地区までは河川改修が完了しているがその先の上流部については用地やJRとの工事費の問題などがあり、中断のまま現在に至っている。今回の氾濫を受けて、町では下流埴字横内下から上流埴字赤坂の大信田橋付近までの間、約2700mにわたり、浚渫や護岸嵩上げの河川改修を即急に要望し、田中地区上流部も含め、改修方法等や計画について県と協議を重ねていく。

②真瀬川の氾濫については、河川管理者である県に対し、即急な対応として河床の浚渫や護岸の補修と嵩上げを要望する。

**再質問** 河川改修することにより耕作放棄地等



豪雨で埴川が氾濫し冠水する大信田橋周辺の田んぼ (H27.7.25)

### 大雨災害の今後の対応策について



嶋津 宣美 議員

7月24日、25日の大雨では真瀬川と埴川に被害が集中したが、今後、町はどんな対策を講ずるのか。災害のない河川を造るには河川改修しかないと思うが、合わせて行政主導で圃場の再整備事業を牽引できないか。

災害のあった箇所を重点的に河床の浚渫や護岸の嵩上げなど、河川改修を県に要望し、即急の対策を求める。河川改修と合わせた圃場整備は、事業期間の長さ、所管の違いもありかなりハ

ードルが高い。町としても事業の推進に様々な支援を行うが、圃場整備事業は実施主体が土地改良区であり、受益者全員の同意が大前提である。

**再質問** 地区と連携して河川改修を進めて欲しい。圃場の再整備を行うことで河川のルート変更や、農道の整備、相続の課題もクリアできるメリットを活かし、土地改良と一緒に進めて事業化すべきでは。

**答弁** 圃場整備は土地改良区の仕事であり、大沢、沼田土地改良区とも事業を断念した訳ではなく、今後も話し合い、町としてできるものについて連携しながら進めたい。



今後の道路整備について

**質問** 地域内の主要道路が何らかのトラブルで遮断したら、もう一本の道路が利用できるように「二集落二路線化」の考えは。集落内の道路を結ぶことで迂回路となり、交通不便が解消し、除雪も軽減される。事業化に向けての要件は。

**答弁** 集落をつなぐ路線は、迂回路を確保しておくことが住民生活にとって必要であることは十分認識している。二路線が必要な状況であれば道路建設を検討する。集落内を結ぶ道路については、地域が建設の同意と町が用地を買い取ることに對する地権者の同意を取りまとめた上で要望していただく。これを受け



学校統合により廃校になる埴川小学校

て町では建設の必要性等について検討し、効果があれば建設を推進する。

**廃校後の校舎利用について**

**質問** 利活用会議の進捗状況は。

**答弁(教育長)** 8月に庁内会議の中で話し合いを持ったが、公表するまでの結果には至っていない。

の問題も解消され、農地の集約、若い農業者の育成にもつながるのでは。

**答弁** 度々氾濫が続くと今後の耕作放棄地が増え、農業をやろうとする若い農業者が離れていく可能性があり、町としても要望していく。

**再質問** 横内地区はこれ以上浚渫すると護岸の基礎の裏が取られて非常に危険だ。

**答弁** 現場の状況もよく踏まえて要望していく。

**学校統合による空き校舎の利活用について**

**質問** 学校統合による空き校舎の利活用は。

**答弁(教育長)** 庁内会議では空き施設となった学校の利活用について、地域の活性化につながるよう、町民の意見を取り入れながら進めることが必要と考える。





腰山 良悦 議員

### 旧岩館子ども園の活用について

**質問** 八森地区の子ども園が統合され、間もなく1年を迎え、各園の建物も老朽化している。旧岩館子ども園について、地域住民は今後建物がどうなるのか関心を示している。旧岩館子ども園は解体か、再利用か。今後の活用についての考えは。

**答弁(教育長)** 旧岩館子ども園だけでなく、旧八森子ども園、旧観海子ども園についても平成21年度地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業を活用して、床の張替え、園庭フェンス改修の工事を

### 防火対策について

**質問** 住民のホースによる消火活動や格納箱の設置等の必要性を求め、再度質問する。

**答弁** 以前は、消防ホースを入れた格納箱を消火栓の近くに置いていたこともあったが、消防団幹部会で話し合い、廃止することにしたものである。自主防災組織についても、一般の方々と同様の危険があることなどから、ホースによる消火活動はお願いしていない。消火栓や消防ホースを使用した消火活動は、やはり普段訓練をしている消防団や消防署員が行う方が良く考えている。

### 傍聴で感じたこと

八峰庁舎の議場から

大沢・笠井 サタ

Uターン組の一人です。八峰町へ定住して丸7年を迎えました。今ではすっかり馴染み、日々の生活に感謝しながら毎日を過ごしております。10日、11日と傍聴に出向き感慨深く聞き取り、大変参考になりました。事前に用意された資料が手元に渡され、大方目を通すことができ役立ちました。両日8名の方が登壇され、質問に対しての答弁がなされ、再質問、再々質問になると議員の方たちも真剣に取り組んでおられる様子がよく分かりました。議員の発言の仕方、その内容で議員への評価として次の選挙に大きく響くことが期待できるのではないのでしょうか。

「災害は文化を造る」と言いますが、豪雨で埴川の堤防が決壊し、被害を受けた青田のカラー写真を資料として提出した議員がおられました。なかなかの出来栄でした。自然災害時に備えての強化、支援の拡充等、考えさせられたことがいくつもありました。

最後に、良い点として、庁舎玄関近くに来客用のお茶が用意されており、心配りをありがたく思いました。次回また傍聴に来たいと思います。議員の方々には、お体を大切に、町民のために頑張ってくださいを期待します。



### 議会を傍聴しませんか

町民の生活に直結した重要な問題が審議されている議会は誰でも傍聴できます。団体での傍聴も可能です。自分が選んだ議員がどのような発言をしているのか目の前で見るすることができます。

八峰町議会では町民の皆さまからの傍聴を心よりお待ちしております。議会の開催日については、お知らせ版等でお知らせしています。ぜひ、気軽にお越し下さい。

#### 議会の傍聴方法

1. 受付簿に住所、氏名、年齢をご記入のうえご着席ください。
2. 傍聴にあたっては、次の事項についてお守りください。
  - ◇指定された出入口から出入し、指定された席にご着席ください。
  - ◇帽子等はお取りください。
  - ◇飲食、又は喫煙はできません。
  - ◇議席には入らないでください。
  - ◇会議を妨げないように願います。
  - ◇携帯電話は電源を切るかマナーモードにしてください。
  - ◇杖・傘及び棒類の携帯はできません。
  - ◇傍聴席以外の室には出入りできません。
  - ◇公然と可否を表明したり、騒がないでください。
  - ◇議場の秩序をみだす行為を禁じます。

### 平成27年7月29日に行われた第3回議会臨時会では次のことが決まりました

- 平成27年度八峰町一般会計補正予算(第2号) 2004万円を追加補正。
- 主な歳出・・・定住推進用空き家改修関係経費、治山工事測量設計委託料、八森ブルーウェーブの東北大会派遣に係る経費。
- なお、議案は全会一致で可決しました。



自主防災組織(岩館第一)の初期消火訓練 (H24.5.27)



# 議会の主な動き (7月～9月)

7月

- 1日 議会広報編集委員会
- 2日 能代山本広域市町村圏組合臨時議会  
遊休資産監査結果報告
- 3日 県北地区町村議員研修・スポーツ交流会
- 5日 消防操法大会
- 8日 J A青年部との懇談会
- 9日 総合振興計画審議会
- 10日 例月現金出納検査  
高速道路ネットワークフォーラム
- 13日 総務民生常任委員会
- 15日 (株)峰浜培養監査
- 16日 海開き神事  
東北国保運営協議会 (～17日：青森市)
- 18日 阿部榮悦氏叙勲祝賀会
- 21日 総合戦略策定委員会
- 22日 議員懇談会  
教育産業建設常任委員会
- 27日 交通安全対策協議会
- 31日 町村長と町村議会議長との政策研究会

8月

- 1日 白瀑神社例大祭
- 2日 第10回町民野球大会開会式  
第10回あわびの里づくり祭り
- 6日 県町村監査委員協議会研修会
- 7日 町村議会広報研修会  
町村議会議員研修会  
県後期高齢者医療連合議会
- 10日 例月現金出納検査
- 14日 成人式
- 18日 議会運営委員会

- 19日 三県合同町村議会議長・事務局長研修  
(～21日：東京都)  
平成26年度決算審査 ～28日
- 21日 戦没者追悼式
- 27日 能代山本広域市町村圏組合広域議会視察研修会 (～29日 大阪府)

9月

- 1日 議会全員協議会
- 2日 議会運営委員会  
ふるさとラン結団式
- 3日 交通安全対策協議会
- 4日 沢目財産区管理会  
八峰町国保運営協議会
- 5日 八峰町敬老式
- 9日 9月議会定例会 (～18日)
- 10日 例月現金出納検査
- 13日 本館たいまつ祭り
- 19日 沢目子ども園運動会
- 24日 議会広報編集委員会
- 28日 八峰町地域包括支援センター運営委員会
- 29日 八峰町総合振興計画審議会  
八峰町総合戦略策定委員会
- 30日 各期成同盟会要望活動  
議会広報編集委員会



町村議会議員研修会

## 編集後記

今、町では第2次総合振興計画審議会、総合戦略策定委員会など町の将来展望や総合戦略などについての会議を行っている。

今年は地方創生関連の事業が多くなっており、雇用創出のための産業振興には地域振興作物拡大支援、元気な中山間農業応援事業、新規就農者経営開始支援などがある。

移住定住対策では、定住推進用空き家改修や地域おこし協力隊招致事業。

少子化対策では、中学校まで医療費無料化、保育料軽減事業、給食費軽減事業などがある。

八峰町誕生10周年の年に、小中学校統合により27年度末で水沢、埴川小学校と八森、峰浜中学校が廃校する。28年の春には新たに峰浜小学校、八峰中学校が開校し、大きな節目の年になる。

町民によかったと言われる事業になるよう、議員も全力で取り組んでいきたい。

(記 水木壽保)

### 議会広報編集特別委員会

委員長 門脇直樹  
副委員長 嶋津宣美  
委員 笠原吉範  
水木壽保  
山本優人